

令和 7 年 2 月 3 日

受付番号

10 時 5 分 受領

1

令和 7 年 2 月 3 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 渡 辺 義 光



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 八幡平市職員心得五カ条の実践と意識改革について	平成 20 年 4 月 1 日に市職員一同が市民に向けて決意表明した八幡平市職員心得五カ条を職員一人一人が自覚し、市民サービスや自己研修に努めていることに敬意を表する。一方で自治会や地域活動に職員の参加が少なく顔が見えないという市民の声や課題も聞こえてくる。以下について伺う。 ① 4 月 1 日から組織機構を見直し部制が施行される。各部課の横断的対応を進め組織強化、行政サービスの向上を図るとの説明であった。組織は人なり、組織力は職員の力量に依存するという。地方公務員のミッション（使命）を共有し、職員のスキルアップ、意識改革をどう進める考えか。 ② 1 月 8 日の市指定無形民俗文化財平笠裸参りに市長自らが参加し市民の安全・安心や岩手山の火山活動沈静化などを祈った。市の各種イベント出演、自治会や団体、スポ少指導などで市民と一緒に活動し汗を流す職員も多くなった。地域に飛び出す職員の評価・育成の取り組みを伺う。 ③ 国においては一人一人が持つ可能性を最大限引き出すために兼業・副業の弾力化が進められている。地域への貢献、職員の人材育成にも寄与する事業である。検討しては。 ④ 会派で研修視察した「写真の町」北海道東川町では、職員の意識改革として「人事異動が早い。仕事の神様を作らない。前任者より良い仕事をする」などの人事戦略で人材育成している。当市の人事異動の基準、適材適所の配置、勤務評定・人事評価、職員の応募数と採用者の現況を伺う。 ⑤ 職員心得五カ条 4 番に「一人一人が小さなセールスマンとなります。郷土を愛し、郷土を知り、郷土の良さを伝えます」とある。職員のシビックプライド具現化と醸成の考えは。	市長 教育長
2 社会科副読本を教材にした学習発表会について	令和 6 年 10 月 12 日、生徒一人一人が主役を演じた大更小学校の学習発表会を観覧した。3 年生は社会科副読本を教材に「われら！八幡平市観光大使」と題して市章や管内地図、ドラゴンアイなどの風景画や特産のリンドウ・ハウレンソウの現物を掲げ元気いっぱいに発表した。一昨年、沼宮内小学校では被爆死した園井恵子や町の先人の演劇を鑑賞した。 ① 当日の参加者全員で校歌や市民歌を合唱してはどうか。 ② 社会科副読本に掲載された先人や現地学習はどう行われているか。学習発表会の成果をどう継承していくか、伺う。	教育長

令和 7 年 2 月 5 日

受付番号

10 時 41 分 受領

2

令和 6 年 2 月 5 日

八幡平市議会議員 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 立 花 安 文



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 市指定無形民俗文化財の振興について	市指定無形民俗文化財は、西根地区 8 団体、松尾地区 2 団体、安代地区 8 団体の計 18 団体がある。私が住む畑地区振興協議会（畑コミセン）の区域には小屋畑田植え踊りと南部手踊りの郷土芸能保存会があり、2 つの踊りは小屋畑集落で継承されてきた。田植え踊りの方は約 50 年前に集落内の踊り手不足から、当時の畑小学校の女子児童に踊りを継承し、成長した踊り手の数名が高校卒業まで小学生や中学生を指導するやり方をつないできた。しかし、コロナ禍で練習の休止が長期間続き、指導者の役割を担っていた高校生が皆卒業したことにより、演目によっては練習ができない状態である。さらに、コロナ禍後は発表する機会も激減した。以下について伺う。 ① 屋外を練り歩く平笠裸参りや横間虫追い祭り、神社の境内で踊る先祓いのほかは発表する舞台を必要とし、発表機会に恵まれないと消滅する恐れがある。昨年 11 月に 5 年ぶり 3 回目の開催になった安代地区民俗芸能団体連絡協議会主催の「安代地区郷土芸能まつり」は貴重な発表の場であるため継続開催できるように市が助成金を交付して無形民俗文化財の保存と振興を図ってはどうか。 ② 安代地区を含む岩手県北、秋田県北、青森県南の旧南部領にはさまざまな郷土芸能が引き継がれている。特に多くの高齢者にはナニヤドヤラ盆踊りの躍動感あふれる太鼓と流麗な動きの踊り、そして多彩な詞の歌は子どもの頃から体に染み込んでおり、輪になって踊る姿を見れば継承する意義と保存の大切さを認識できるものと思う。市制施行 20 周年記念事業の一つとして、郷土芸能のもつ娯楽性で市民を楽しませるために、市主催で仮称「郷土芸能フェスティバル」を市内外の郷土芸能団体を招いて開催してはどうか。 ③ 無形民俗文化財の電子映像記録化の進捗状況および収録して編集を終えた映像は DVD などによって一般販売を行う予定か伺う。	市長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
2 平館高校の「いわて留学」について	2025 年度に県立高校が県外から生徒を受け入れる「いわて留学」の県全体の志願者数が 47 人だった。いわて留学は平館高校ほか 9 校が「(1)地域ふるさと振興校」に、昨年、市議会総務教育常任委員会が視察調査を実施した葛巻高校（山村留学）ほか 2 校は「(2)留学実施校」に、種市高校（海洋開発科）ほか 1 校は「(3)特色教育課程」の 3 区分に分けて、県内 15 校が県外から生徒募集を行った。その結果、平館高校と同じ区分の遠野高校には 11 人の応募者があり平館高校への応募者はなかった。次年度も現状のままで生徒募集を行っても成果が期待できないと考えるが、見解を伺う。	市長
3 空き家、宅地バンクおよび市の住宅用地販売について	市ホームページで、空き家、宅地および市住宅用地販売の情報提供を行っている。以下について伺う。 ① 空き家、宅地バンクの令和 6 年度上半期の問い合わせ件数およびアクセス件数を伺う。 ② 売買価格が安ければ安いほど成約率が高くなると思う。希望価格に「見え消し線」を入れて値下げ額が一目で分かるように表示している自治体がある。当市は価格改定の表示をしているものの目立たない。「価格改定」の文字を極太文字にしてはどうか。 ③ 全国紙の特集記事で、首都圏の外縁部にある「限界ニュータウン」や「限界分譲地」と言われるところでは売りに出された物件が値下げを繰り返し、さらに売り主がどうしても土地や建物を手放すために 0 円物件まで出現するようになった。安くなれば買い手が付き、人が流入して、消滅に向かうどころか「人口が増えている」というものだった。市が運営する空き家、宅地バンクの目的は格安物件で移住定住につなげることにあると思うが、表示希望価格が地域の相場価格より高く感じるものも載せている。バンク制度の趣旨から外れているのではないか。 ④ 市の湯沢地区住宅用地は 5 年前から、柏台地区は 4 年前からホームページを更新していない。価格を見直して完売した方が良いのではないか。	市長
4 佐々木市政のこれまでの総括と今後の抱負について	令和 7 年度は、市制施行 20 周年各種記念事業や第 3 次市総合計画の策定で多忙を極めている最中の 9 月に市長選挙が執行される。当市の将来像「^{みのり}農と^{ひかり}輝の大地」の創造実現に向けたこれまでの各種産業振興施策、福祉向上施策は総じて効果的だったことから「人口が減少しても税収の落ち込みが見られない」市政運営が続いている。佐々木市長は前回選挙で「明日へつなぐまちづくり」を掲げ当選し、市民への誠実な対応と適切な施策展開で、選挙公約達成に真摯に取り組み公約実現を果たしてきた。市長選出馬表明が待たれるが、これまでの総括と今後の抱負を伺う。	市長

令和 7 年 2 月 10 日

受付番号

9 時 16 分 受領

3

令和 7 年 2 月 10 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 工 藤 直 道



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 関係人口創出について	国の地方創生政策の取り組みが始まり 10 年が経過した。地方分散や移住・定住推進は停滞し、残念ながら地方への人口分散は進まない状況にある。そのような中、移住に至らないまでも地域外の人材が地域づくりの担い手となり、地域の魅力を発信する「関係人口」が新たな地方創生策として注目をされている。本市へのふるさと納税者など八幡平ファンの増加、拡大を図り「関係人口」を生み出す取り組みが必要と考える。今後、市において積極的に取り組むべきと考え、以下について伺う。 ① 本市の高齢化は顕著に表われている。生産年齢人口の急激な減少も予想され、新たな担い手の確保策が重要と考える。新市誕生後、定住化対策の中で関係人口の創出についてどのような考えのもと、推進されてきたのか見解を伺う。 ② 関係人口の創出については、今後具体的な関連施策を展開する必要があると考える。総務省の検討会報告書においては「中間支援機能」の必要性が指摘されており、地域の民間団体、NPO などの育成が掲げられている。今後、ますます市の役割が重要と考えるが、新年度にむけ創出の取り組みについての見解を伺う。	市 長
2 外国人児童・生徒の日本語指導について	県内において保護者の就労などにより、国外から日本に来る外国人児童生徒の就学が増えつつある。本市においても同様の状況と思われることから以下について伺う。 ① 市内において各小・中学校における日本語指導が必要と思われる児童生徒数と国別数を伺う。また、不就学の外国人の子どもはいないか伺う。 ② 現在、在籍している小・中学校児童生徒への日本語指導は個々の能力を発揮できる教育体制が整っているか伺う。 ③ 子どもの多様性に配慮した教育が重要と考えるが教育委員会としての見解を伺う。 ④ 外国人保護者への相談支援が必要と考えるが、母国語が使える支援員の配置などの取り組みは行われているのか伺う。	教育長
3 高齢者福祉の現状と支援策について	令和 7 年には、団塊の世代が 75 歳以上となり後期高齢者人口の割合が増加して行くことが見込まれる。特に自宅での介護などへの支援が一層重要となることから以下について伺う。 ① 高齢化が進むにつれ高齢の夫婦、兄弟姉妹、親子など老老	市 長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
	介護の問題がある。介護者の体力、精神的負担が挙げられる。サポート体制など支援策を伺う。 ② 高齢の親が障がいのある子どもの介護をして暮らす老障介護世帯の状況および実態が把握しにくいと言われているが、現状と支援の考えについて伺う。 ③ 子の「引きこもり」などの理由による高齢の親が子どもの生活を支える「8050 問題」などの実態把握について伺う。	
4 民生委員のなり手不足について	令和7年度は民生委員の3年に1度の改選期を迎える。当市においても、なり手不足が地域自治会の課題となっている。 地域福祉のつなぎ役、福祉活動、各種会議への参加など負担感が増していると思われるが、以下について伺う。 ① 本市の民生委員の充足率と確保対策の現状を伺う。 ② 民生委員への相談が複雑化・多様化し、行政の適切な助言が必要という声がある。民生委員への支援体制は十分と考えているのか見解を伺う。 ③ 民生委員の年間活動費については、国の支給基準があると考えている。市においても助成の検討など、活動費の充実を図るべきと考えるが伺う。	市 長

令和 7 年 2 月 13 日	受理番号
8 時 30 分受領	4

令和 7 年 2 月 13 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 羽 沢 寿 隆



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的内容)	質問の相手
1 遊休農地の現状について	昨今、農業者の高齢化、リタイアに伴い遊休農地が目立ってきた。本市の基幹産業は間違いなく農業であり、専業兼業を含め市民の大部分が関わる産業である。時代の流れとはいえ、あまりにも離農、非農地化が進んでいると感じる。以下について質問する。 ① これまで、農地集約化、効率化、認定農業者による大規模化などさまざまな施策によって農業生産額、農家の収入などはどのように推移してきたか。その効果と検証を伺う。 ② 現在までの離農や高齢化による非農地、遊休農地の推移はどうなっているのか伺う。 ③ 今後、米やリンドウなど主力生産物に対しての支援、施策などは、どのように考えているのか。 ④ その効果としての生産量、売上高、目標などは設定しているのか伺う。	市 長 農業委員会 長
2 商工業者の支援について	八幡平市は、大自然に恵まれた豊富な観光資源の宝庫であり、昨今のインバウンド需要により市内観光業者を初め、商工業全体にその恩恵を受けていてもおかしくない。しかしながら、バブル期のような活気はほとんど見られない。見られないどころか、物価高騰と商業形態の変化、人口減による市場の縮小、経営者の高齢化などによって、廃業する商店、工場が多くなってきた。すでに市民生活にも大きな影響が出てきている。以下について質問する。 ① 消費下支え支援事業に PayPay のポイント還元があるが、市内商店の何割がキャッシュレス対応できるのか。またその手続きと使用方法、市民に対しての周知はどう考えているのか伺う。 ② ハロウ安比校、新設予定の細野新小中学校などは、市の経済活性化に寄与する見込みがあるか。また税収の見込	市 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨（具体的内容）	質問の相手
	み額、周辺に及ぼす経済効果のおおよその試算はあるか 何う。 ③ 全国有名観光地では、外国人観光客によるオーバーツーリズムが問題になってきている。視察先でもそれに関連する話があった。市内において問題の報告事例はあるか。 ④ 外国人に対し、国の方針と経済界からの要請とはいえ安易にビザを発行したり、わずかな手数料で日本の運転免許への切り替えをしたり、特定の国においての優遇処置が目に見え。本市においても今後、ますますインバウンドまたは移住という面において外国人とのトラブルの増加が予測される。市はどう考えているのか。	

令和 7 年 2 月 13 日

受付番号

9 時 28 分 受領

5

令和 7 年 2 月 13 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 高 橋 悦 郎



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画について	この大更駅周辺のまちづくりには、大更駅東西の整備に約 50 億円が投資された。そして今、(仮称) 大更駅前顔づくり施設に約 20 億円の工事費を投資し建設が進められている。改めて、その約 70 億円を投資する費用対効果と課題について伺う。 ① J R 大更駅の利用者によるにぎわいづくりも大きく期待されていたが、最近の大更駅 1 日当たり乗車人員数の推移と今後の駅利用者拡大の施策があれば伺う。 ② 大更駅の東口からの直接乗降が必要と利用者の声が多い。ぜひ実現していただきたいが、その可能性について伺う。 ③ この整備計画にある松子踏切の拡幅工事の時期を示せ。 ④ 大更駅前線沿道商業用地の現在の公募・契約状況を伺う。 ⑤ 沿道商業用地に、市が店舗を建設しテナントを募集することへの期待の声があるが見解を伺う。 ⑥ (仮称) 大更駅前顔づくり施設の年間の維持管理費に 1 億円を超える見通しの説明があった。その維持管理費の内訳と詳細を伺う。 ⑦ 建築資材などが高騰している中で、(仮称) 大更駅前顔づくり施設建設費への影響はないか伺う。	市長
2 市の繁殖育成センターについて	全国的に畜産農家が特に厳しい経営状況になっている中で、本市では「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」事業で畜産農家向けに、5,500 万円の支援金を計画したことは畜産農家の大きな励ましとなる。このような中で、市繁殖育成センターの経営も厳しいと推測されるが、次について伺う。 ① 現在センターが預託されている牛の頭数を伺う。 ② 新岩手農協に管理運営を指定管理しているが、現在のセンターの経営状況について伺う。 ③ センターの指定管理料については、本市からは支出しない答弁をしてきた。今後も指定管理料を支出しなくても運営していけるのか伺う。 ④ この施設建設費に国の畜産クラスター事業の補助などを活用しているが、この場合に他自治体から牛の預託を受け入れができるのか伺う。	市長
3 子育て支援について	本市の人口と出生数は減少が続いている。一方では「失われ	市長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
て	た 30 年問題」そして長引く物価高騰など、子育て世代にとって厳しい環境が続いている。令和 6 年の本市の出生数は、岩手県人口移動報告年報によると、60 名（前年比マイナス 12 名）と過去最小の出生数となった。この少子化の中、県内の市町村は子育て支援に力を入れている。高校卒業までの医療費無料は県内すべての市町村が足並みをそろえ実現をした。また学校給食費の無償化については 11 市町村が実施し、給食の食材費一部補助は 17 市町村に広がってきた。さらには第 1 子から所得制限なしで、全ての保育料を無償化している市町村も 13 市町村に広がっている。これらを踏まえ、本市で保育料の完全無償化を実施できないか、次について伺う。 ① 本市で第 1 子から所得制限なしで保育料を無償化するにはいくら予算が必要か。その対象者は何人なのか伺う。 ② 保育料無償化の財源に過疎債のソフト事業は適用できるのか伺う。 ③ 現在、過疎債を充当した子育て支援事業の事業名と事業費を伺う。 ④ 本市の過疎債ソフト事業の枠、もしくは限度額はいくらかのか、子育て支援に利用できる枠は残っていないのか伺う。	

令和 7 年 2 月 17 日

受付番号

8 時 30 分 受領

6

令和 7 年 2 月 17 日

八幡平市議会議員 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 外 山 一 則



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 10 年後見据えた 農業施策について	昨年是全国的なコメ不足の影響もあり、米価が高騰した年であった。しかし、全国的に農業者の減少は依然としてとどまることを知らず、担い手の確保、育成は喫緊の課題である。自然災害による脅威が増え、有害鳥獣による被害も拡大している中、円安などの影響により資材や燃料・人件費の高騰など農業を取り巻く環境は年々厳しさを増してきている。 令和 5 年 4 月より、農業経営基盤強化促進法の改正に伴い「地域計画」が法定化され、10 年後の「目標地図」を作成することが義務付けられた。このことにより、各地域で目標地図作成のため、10 年後の農地について話し合う機会が設けられた。どの地域でもかなり厳しい状況である。これらを踏まえ以下について伺う。 ①地域計画の目標地図作成期限は今年の 3 月末であるが、進捗状況は。 ②当市の新規就農者支援制度は近隣自治体と比較しても、充実しており頑張っていると評価できる。併せて令和 6 年度から親元就農支援も始めている。近年の新規就農者数、親元就農支援の現段階での効果を伺う。 ③農林水産省の調査によると、全国的に農業従事者の平均年齢は 70 歳前後に達し 60 歳以上の割合が大部分を占めている。当市の農業従事者の年代別の割合と、農業従事者数の推移を伺う。	市長
2 当市のインフラ管理について	1 月 28 日埼玉県八潮市で県道が陥没し、トラックが転落した事故があった。この事故を受け政府は全国の下水道管理者に対し、同様な個所の緊急点検を要請した。当市には同様な個所はないと思うが、下水道だけでなく、上水道や道路、橋梁などのインフラ資産があり、これらの管理状況について伺う。 ①当市のインフラ資産で、老朽化が進んでおり危険な個所はあるのか。 ②上水道施設の漏水状況と漏水調査方法は。	市長
3 空き公共施設の活用状況について	1 月に発行したギカイのひろば「声」のコーナーで「人口減少に伴い、使用していない施設が見られます。今後の市の対応を聞きたい」とのご意見が届いた。令和 5 年 3 月に改訂となっ	市長 教育長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
	た八幡平市公共施設等総合管理計画では、当市の建設系公共施設は、282 施設、584 棟であり、延床面積は 250,090 平方メートル。その中で老朽化の状況は、高度経済成長期の昭和 40 年頃から多くの施設が整備されていることから、築 60 年以上の施設や、間もなく建て替え時期（60 年）となる築 50 年以上の施設が約 9.3%、大規模改修が必要とされる築 30～49 年を経過する施設が全体の 42.5%を占めている状況であり、近年の急速な高齢化、人口減少社会の進展に伴い、今後、施設の維持・管理・大規模改修などに要する経費が大きな財政負担になることが予見されている。これらを踏まえ以下について伺う。 ①八幡平市公共施設再編計画において、施設の方針を「廃止」とした 29 施設のうち、解体済み、譲渡などの 5 施設を除いた 24 施設は全て解体する方針になっていると聞いている。その中でも、おおむね 10 年をめどに優先的に解体を目指す施設が 5 施設あるが、実施計画と進捗状況を伺う。 ②市立図書館は、来年の春に大更駅前に移転が決まっており、現在使用している建物は空き施設になる。その利活用について現時点での計画を伺う。	

令和 7 年 2 月 17 日

受付番号

12 時 32 分 受領

7

令和 7 年 2 月 17 日

八幡平市議会議員 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 北 口 功



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 高齢者等温泉館管理運営事業について	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくりを目標に、市民の皆さんの憩いの場として多くの皆さまに利用していただいている。しかし、施設の老朽化とともに、なかやま荘は温泉施設のための営業、森の湯は大幅なリフォームをしている。年末年始は帰省してきた家族や県内外からのお客さまでにぎわっていたようだ。内部の設備もかなり傷んでいるのが見受けられる。市民の方から、改善の要望も聞いている。このことから、以下について伺う。 ① なかやま荘の腐食した鏡の付け替えの計画はあるのか。指定管理者との協議をしているのか。 ② 森の湯の男女脱衣場のパネルヒーターが腐食して液漏れ状態が続いているが、現状を把握しているのか。今後の改修計画などについて指定管理者と協議しているのか。	市長
2 観光事業について	厳しい冬も間もなく終わりを迎え、八幡平アスピーテラインの除雪も始まり、春の観光シーズンを迎える。特に近年はドラゴンアイの人気もあり、見られる時期の週末などは八幡平頂上の駐車場が満車になることも多い。見に行きたいが駐車時に困り、ためらってしまうという声も聞いた。ふもとからシャトルバスがあればいいのにとという要望もあったことから、以下について伺う。 ① 混雑時の頂上駐車場の混み具合の状況を把握しているのか。また、対策などの検討をしているのか。 ② 週末、さくら公園駐車場か、ビジターセンター駐車場を発着するシャトルバスの運行を県北バスと協議して、より多くの観光客のニーズにこたえる必要があるのではないか。 ③ 観光振興として大事な樹海ラインの復旧工事がある、令和 7 年度の計画と現状を関係者のみならず、市民の皆さんに広報していくべきではないか。	市長
3 新図書館の電子書籍計画について	（仮称）大更駅前顔づくり施設は土台部分の工事が進められている。無事故で完成に向けて取り組んでもらいたい。これまでも新図書館についてはさまざまな議論されているが、電子書籍に関する協議が少ないように感じられる。今後の図書館運営における、電子書籍の取り組みについて伺う。	教育長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
	① 電子書籍計画の中に Amazon 社と提携して管理運営する考えはないか。Amazon 社は、自治体と連携した事業を数多く手がけている。顔づくり施設運営の起爆剤として話題性もあり、市民の皆さんの関心もより注目して、登録者増にもつながると思うが、見解を伺う。	

令和 7 年 2 月 20 日

受付番号

8 時 30 分 受領

8

令和 7 年 2 月 20 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 田 村 正 元



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 子育て支援と学校教育について	現在、日本全体で少子高齢化が政府の予測よりはるかに速いスピードで進んでおり、当市における出生者数についても 1995 年の 274 人から 2000 年に 211 人、2010 年に 167 人、2020 年に 82 人、そして昨年度が 56 人、今年は 12 月末現在で 42 人とわれわれがイメージとして認識できる範囲を大きく超え、急激に減少している。そのような中、他の地域にはない八幡平市としての独自の特色ある子育て、学校教育が必要と感じる。八幡平市の子育て、学校教育に関して、以下について伺う。 ① 交流複合施設として総工費約 20 億 5 千万円をかけて建設がスタートした『(仮称) 大更駅前顔づくり施設』の、2 階部分の子育て支援、遊具エリアについて、具体的な遊具などの詳細な仕様は決定したのかを伺う。 ② 『(仮称) 大更駅前顔づくり施設』の、3 階部分の図書館について、具体的な図書の内容、運営形態などの詳細は決定したのかを伺う。 ③ 本年度の小学校と中学校のスキー授業について、スキー場での実践授業はどのように実施しているのかを伺う。 ④ 就学援助(新入学用品費)の入学前支給について、小学校、中学校それぞれの過去 3 年間の実績数と令和 7 年 4 月入学予定者の実績数について伺う。 ⑤ 岩手県立平舘高校の地域みらい留学制度について、八幡平市として独自に取り組んでいる内容、もしくは予定している内容について伺う。	市 長 教育長
2 観光振興対策と今後の振興計画について	政府の観光立国インバウンド 2030 年、6,000 万人達成に向けてさまざまな事業が行われている中、八幡平市の今後の観光振興計画について伺う。 ① 第 4 期八幡平市観光振興計画において、現状として、具体的な成果について伺う。 ② スポーツツーリズムにおいて、夏季におけるスポーツ団体の誘致活動はどのように実施しているのか伺う。 ③ 経済産業省の補助金を受けた複合施設であるノーザングランデが休業してから 2 年近くが経過するが、八幡平市として、今後の在り方について、運営会社であった株式会社クレセントの破産も含めて、どのように考えているか方向性を伺う。 ④ 安比高原スキー場からローソンまでの市道安比線につ	市 長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
	いて、ハロウ校開校やインバウンドウインター観光客の増加に伴い、冬季においても歩行者が毎日いる状況である。また、吹雪の日にも歩行者が存在し、危険な状況となっており、事故も発生している。歩道整備を最優先で実施する路線として認識するが、見解を伺う。	

令和 7 年 2 月 20 日	受付番号
10 時 10 分 受領	9

令和 7 年 2 月 20 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 工 藤 多 弘



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 (仮称) 大更駅前 顔づくり施設につ いて	① 令和 6 年第 2 回定例会において、(仮称) 大更駅前顔づくり施設の利用見込者数の質問に対し 1 階は 19,000 人、2 階は 12,000 人、3 階は 20,000 人、計 51,000 人と答弁があった。3 階利用者の 20,000 人は無料と想定しているが、それ以外の 31,000 人うち利用料金を支払う人は何人想定で、利用料金は年間でいくらとなる想定か。また、人件費を除いて、光熱水費など純粋な施設管理費は、年間いくらになる想定なのか伺う。 ② 工事費とは別に備品の予算もかなりかかる。各フロアでなく、施設全体での備品購入費は合計でいくらになるか。また、備品の詳細について伺う。 ③ 複合施設が 11 月の完成予定であり、令和 8 年 4 月に運用開始とある。施設の建設工事費にかかる設計監理費は今までにいくらか。建設工事費 19 億 9,800 万円の見通しについて伺う。 ④ 令和 6 年第 1 回定例会において、私の質問に対し「八幡平市起業家支援センターと移住定住センターとの交流連携により、新規移住者の獲得や新たなビジネスチャンスを得る機会が生まれる」と答弁があった。しかし、市町村間で競争が激しくなる中、新規移住者の獲得や新たなビジネスチャンスがどのように生まれるのか具体的に見えない。建物が完成する前にスピード感をもって、具体的な計画を進める必要があると思うが見解を伺う。 ⑤ 指定管理制度を導入するとある。建物の内容も大切だが、どのような者が管理するかも重要である。八幡平市の家庭形態や子育ての状況、観光だけでなく大更駅から花輪線やバスによる通学状況や歴史・文化などの地域性にも、表面だけでなく熟知した企画力のある市内の団体が指定管理者にふさわしいと思う。現在、市では共同事業体で指定管理している施設があるのかを含め、市の見解を伺う。	市 長
2 観光振興につ いて	① 令和 7 年度施政方針演述の令和 7 年度重点施策の観光振興について、おもてなしの観光による交流人口の増加を目指すために新たな観光コンテンツの発掘や豊かな自然、食、文化、歴史など	市 長

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
	を磨き上げ、本市の観光の魅力を国内外に向けて効果的に発信するとあった。具体的な事業内容について伺う。 ② 令和6年第1回定例会において、同僚議員の質問に対し「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりを的確に推進していくために、組織体制の強化および人材育成に引き続き取り組む。また、さまざまな実証については、観光庁から支援をいただけるものと認識している。DMOだから観光協会だからということではなく、施策にのっとった事業がどれくらい必要なかを踏まえて予算を計上する」と答弁があった。今後のインバウンド観光に関する業務は、どこに業務委託するのか。また、事業内容について伺う。 ③ 株式会社八幡平DMOは、平成30年5月22日に設立し、八幡平観光施策の提言、実施を行ってきた。これまで、平成30年から令和5年まで合計4億4千万円を委託料などとして八幡平DMOへ支払いしている。6年間分の市の支払い金額、国からの補助金額の合計がいくらか伺う。 ④ 八幡平市観光イベント実行委員会の組織構成はどのようなになっているのか伺う。	

令和 7 年 2 月 20 日

受付番号

10 時 17 分 受領

10

令和 7 年 2 月 20 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 齊 藤 隆 雄



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 給食費の無償化について	日本国憲法第 26 条では、すべて国民が能力に応じて平等に教育を受ける権利を有し、保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負うことが定められている。また、義務教育は無償とされている。国会においても給食費の無償化に向けた議論が行われている。全国では 3 割の 574 自治体が無償化を実施、2017 年と比較すると 7 倍と大きく進んでいる。県内では 11 の自治体が無償化を実施しており、自治体の格差が生じている。給食費無償化のアンケートでは 79.4%の方が賛成、13.8%の方が反対という内容である。国が無償化を行うと 5,100 億円財源が必要となる。当市において無償化を行った場合 6,900 万円の財源は必要であると考えるが、以下について伺う。 ① 憲法で無償とされている点、また、無償化を実施した自治体が増えている中で格差が生じているなど、早期に無償化を実施するべきと考えるが見解を伺う。 ② 無償化ができない要因について考えを伺う。 ③ 財源の確保が必要であるが、これまで検討したことはあるのか。また、早期に無償化した場合、財源をどのように考えるのか伺う。	教育長
2 訪問介護について	訪問介護サービスの空白地域が安代圏域に起きている。介護事業所が休止となり 14 名の方を個々に対応していると聞いたが、今後、訪問介護を必要とされる方への対応について伺う。 ①介護事業所の再開に向けて支援策などは考えているのか伺う。 ②介護事業所の再開までの期間、訪問介護を希望される方への対応はどうされるのか伺う。	市 長
3 田山多目的グラウンドの整備計画について	田山グラウンド緑化は多目的グラウンドを使用する競技に支障があってはならないと地元の方からの要望がある。利用者に整備計画を説明して進めるべきと考えるが、以下について伺う。 ① 陸上トラック、野球・ソフトボール 2 面に支障のない緑化を進めるべきと考えるが計画プランを具体的に伺う。 ② 緑化の方法・計画期間を伺う。	市 長

令和 7 年 2 月 20 日 八幡平市議会議員 工 藤 隆 一 殿 八幡平市議会議員 熊 澤 博	
一 般 質 問 通 告 書 次のとおり通告します。	

質 問 事 項	質問の要旨（具体的内容）	質問の相手
1 高齢福祉の在り方について	2024 年の介護報酬の改定で訪問介護は基本報酬が引き下げられた。2025 年には 700 万人が認知症になると試算される中、健康寿命の延伸が課題であり市総合計画基本計画に掲げる「元気に長生き高齢社会の実現」は、ますます重要になっている。 ① フレイル予防に向けた健康教室の開催の現状は。 ② シルバーリハビリ体操の「通いの場」の現状は。 ③ シルバーリハビリ体操の指導者の現状は。 ④ チームオレンジは市町村が認知症の人やその家族を支援する地域活動の仕組みで、全国の自治体で設置されている。チームオレンジの立ち上げの現状と目指す計画は。	市 長
2 酪農・畜産の振興の在り方について	飼料代の高騰が高止まりし、経営が厳しい。酪農家からは、「せめて、手取り乳価が 1 リットル当たり 10～15 円上がってくれば」との声が聞こえてくるほか、2 月市場の和牛子牛の平均価格は 51 万 2 千円で、補給金制度の保証基準価格 56 万 4 千円を 5 万円下回っていた。繁殖育成センターへの預託を躊躇する情勢が続いている。 ① 繁殖育成センターへの預託した場合の農家への優遇措置の検討など、関係機関との協議はしたのか。	市 長
3 稲作経営の在り方について	玄米 60 キログラム当たり 2 万 6,210 円（2 月 19 日現在）に 5 カ月連続値上がりする中、水田政策の見直しが求められている。 ① 担い手農家育成の手立ては。 ② 菌根菌を利用した節水型の乾田直播の普及の考えは。	市 長

令和 7 年 2 月 20 日

受付番号

11 時 9 分 受領

12

令和 7 年 2 月 20 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会議員 古 川 津 好



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的内容)	質問の相手
1 市の観光事業と (株)八幡平DMO について	(1) 八幡平温泉郷のレストラン「ノーザングランデ八幡平」を運営する(株)クレセントが約4億2千万負債を抱えて破産したことが1月に報じられた。八幡平温泉郷の活性化に寄与するものと思われていたことから、地域にとっても大きな損失である。かつて、このレストランを運営する(株)クレセントの役員が(株)八幡平DMOの代表取締役も兼務していた時期もあり、資本の出資関係や業務の取引関係も含めて(株)八幡平DMOと密接に関係していたと思われる。さらに市からも多額の補助金などが(株)八幡平DMOに支払われている。このことから、市の観光事業との関わりを含めて、その影響などについて伺う。 ① 市と民間それぞれからの(株)八幡平DMOへの出資と人材の派遣はどうなっているか。 ② 多額の税金が投入されてきた(株)八幡平DMOと破産した(株)クレセントとの事業の取引内容についてはどのように把握しているか。 ③ 6年度も(株)八幡平DMOへ業務を委託しているが、過去5年間のDMOの社員数の推移、そして今年状況はどのようになっているか。 ④ 八幡平市観光協会会長が正月の岩手日報紙面で観光地域づくり法人(DMO)の登録申請を行うとのことだったが、既存の(株)八幡平DMOとの関係は、今後どのようにになると把握しているか。 (2) これまで、市から(株)八幡平DMOへ多額の補助金や業務委託料が支払われている。その監査はどのように行われてきたか。(株)八幡平DMO設立時からこれまで	市 長 監査委員

質 問 事 項	質 問 の 要 旨（具体的内容）	質問の相手
	の監査の状況とその監査内容（監査意見）を伺う。	
2 行政訴訟について	（１）昨年６月に、小屋畑の屋内ゲートボール場の解体工事差し止めの訴えが起こされたようであるが、その内容を伺う。 ① このような事例は数少ないと思われるが、これまで訴えの内容について、何ら議会に説明がなかったのは、どうしてか。 ② 裁判の状況はどのようになっているか。 ③ 解体業者との解体工事契約では、このような中断の際の取り扱いは金銭的なものを含めてどのようになっているか。 ④ 市民の方から手前の老朽化した建物を壊した状況を見て、あの鉄骨の建物を壊すことはもったいないとの意見が寄せられた。現在の状況での資産価値はいくらになるか。（敷地全体の面積と建物面積、土地と建物を固定資産税の評価に基づいて計算した場合の金額）	市 長